

特定整備路線・補助28号線の事業認可取消し求める要望書

「池上通り（補助28号線）拡幅に納得できない・暮らしと営業守る会」
代表 多田康弘 品川区大井5-5-30

補助28号線の事業認可取消し、および計画の白紙撤回を次の理由により要望いたします。

- 1 品川区内の特定整備路線・補助29号線の住民説明会は、2回行ってから認可申請をしたのに、28号線は1回しか行わないで認可申請を行いました。
- 2 住民説明会で都と区は、道路建設事業推進の目的を「防災のための命の道路」と住民に説明しました。ところが、都が国土交通省に提出した認可申請書では、「交通の円滑化が図られるとともに、安全で快適な歩行空間が確保される。また、主要延焼遮断帯である同区間の整備により地域の防災が向上する」となっており、防災は付けたしです。説明を聞いて防災のためならとやむなく賛成した住民をもだますものです。
- 3 拡幅目的を防災のための延焼遮断帯と説明し、都が作成した延焼シュミレーションの投影画像を住民に示し効果を強調しました。
ところが、2014年9月11日、12日に行われた東京都議会建設委員会で、その延焼シュミレーションでも計画区域の一部で延焼突破して、約400棟が焼け落ちることが明らかにされ、効果に対して疑問が湧いてきました。住民説明会では「都合の悪い部分」を隠したのです。
- 4 池上通りは、2010年の調査でも下記のごとく交通量は減り続けており、計画区間は渋滞も発生しておりません。

| | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 池上通り：大井6丁目 | H9年：11888台 | H17年：10819台 | H22年：9752台 |
| 環七通り：大森北5丁目 | H9年：38113台 | H17年：37780台 | H22年：33561台 |
- 5 池上通り拡幅に要する費用は70億円余と多額です。事業区間の道路幅は現在15mであり、両側にはすでに耐火高層ビルが建ち並んでいます。「公共事業」の優先順位という観点からしても、本事業の推進目的が不明です。
- 6 計画区域の池上通りの両側は、かつては種なお店が並らんでいました。幅20Mへの拡幅が行われれば、借家で商売している人も含め、大きな生活上の変化（困難）を余儀なくされます。
- 7 最近になって、昭和21年4月に告示された都市計画決定そのものに、手続きや原簿の存在など、法律上の瑕疵・疑義がることを知りました。

以上